

## 人権講演会 武田 邦彦先生の講演を聞いて

理事 西井 弘子

6月22日、金屋文化保健センター

で武田邦彦さんによる人権講演会が開催されました。テーマは「エネルギーから見た人権」であった。冒頭に「違った考えを聞く寛容な気持ちで聞いてください。」と言われた。画期的であった。

「ちよつと！今の日本、日本人は頭を切り替える必要があるんじゃないの？」旬の人、武田先生の今までと違った視点からの話にいろいろと考えさせられた。

先生は「真理と正義を愛せよ」とする職業である学者さんだ。

○先生のブログから三つのこと  
①思想信条の自由を持つためには正しい情報が提供されなければならない。  
②自然科学と文科系学問の融合、つまり文理融合が大事である。

③新しい時代の生がい（人生）を私たち自身が考えなければならぬ。人間は集団性生物の一種として「集団としての生きがい」が必要である。ということを中心に考えられ

ているということがわかった。

講演では

①に関しては石油などの化石資源は資源専門家である先生が解析したら2000万年分ぐらいあるという。石油など「あと40年で枯渇する」などといわれることも多い。これは、石油会社が仕組んだものらしい。

②に関しては、原発事故が技術的要因と組織や人の問題が絡んでいることは多くの人が認識しており、文理が融合していたら被害も少なく済んだという。

③は、我々は将来に責任をもたなければならぬ。日本は衰退していかばかりで後40年もすれば日本中に工場がなくなり就職率も30%になるという。子どもたちの職業を作るべきで、経済を盛んにし、国を守り、自分だけよかつたらよいではないかと言われた。

3・11原発事故以来、大きく崩れはじめ、忍びよる第二の人権課題があるという。ひとつは、子どもの人

権だ。なんと子どもは大人の10倍の被爆シーベルト基準に設定され、国連の人権委員会から「子どもを疎開させよ。」と言われたという。子どもは何も言わない。未来を担う子どもが大事にされていないのだ。校舎の事とか大人の都合で決められたら、たまらない。

次に「地方の人権が守られていない」と。東京の電気を新潟や福島で作って送っている。危険な原発は地方に作っている。原発再開では、東京など大都会に原発を作るのを先にする。廃棄物格納、事故の保険も含めた原発総コストを公表するなど国民の合意が必要であると言われた。子どもの人権、地方の人権を守る社会にしていこうと呼びかけられた。

いろいろと考えさせられることがあった。  
が、講演では客観的に分かる資料が欲しかった。その点は残念に思った。子どもを守ること、エネルギーの問題、国土を守ること、生きがいや、いろいろな格差の問題を見直すいい機会となった。

★アンケートに感想をいただきました。一部をご紹介します。

◎40歳代女性

未来のため、あるいは子ども達、そしてここに生きている全ての人がそれぞれ居場所を幸せでいられるような環境づくりこそが、やはり必要不可欠だと思えます。

◎60歳代女性  
自然にやさしくそして人にやさしく

大きな意味で日本における男は男の仕事、女は女の仕事の役割を解りやすく講演され意義のある会でした。



### お知らせ

8月21日(水)に人権特設相談所を開設いたします。  
場所 二川住民センター  
時間 午後1時から4時まで  
相談は無料で秘密は厳守されます。お気軽にご相談下さい

### 人権に関するお問い合わせ

金屋庁舎 社会教育課

TEL 52-2111

FAX 32-4827